

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 11月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 0 1 0 1 6 5 4
法人名	有限会社 かざぐるま
事業所名	グループホーム はるかぜ
所在地	広島県広島市安佐北区亀山南2丁目5 - 20 - 5 (電 話) 082 - 819 - 1107
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成 21 年 10月 30 日

## 【情報提供票より】21年9月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 12 年 4 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	14人 常勤 4人, 非常勤 10人, 常勤換算 9

### (2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り 2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分
------	---------------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有( 円) <input type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	500 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり		1200	円

### (4) 利用者の概要( 9月20日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	1 名	要介護4	3 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	75 歳	最高	102 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	長久堂野村病院・中野内科医院・森岡神経内科・うつのみや歯科
---------	-------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームはるかぜは、今年で、10年目を迎えられ、益々、地元にしかり根付かれ、地域の方々から信頼されておられます。利用者の方で開設当初から入居の方もお元気で、寝たきりゼロという快挙です。近くの集会所やコミュニティスペースの利用で、より拡がりのある活動ができ地域と共存、共栄の姿が見られます。利用者の方の穏やかな顔が印象的なホームです。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	家族への便りを作成するにあたり、パソコンを得意とする職員に「はるかぜ便り」を作ってもらったり、細ごました事を役割分担することにより、スタッフの意識も高まった。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員全員でミーティングを行い、評価項目についても検討し、日常業務の見直しの機会として、捉えている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、2ヶ月に1回、開催されており、行事案内や状況報告をしている。地域の方からの要望や意見も出してもらい、のちの職員ミーティングで、検討している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご家族は、気軽に尋ねて行きやすい面は あるが、ホーム内の清掃面等、少し気になっておられた様子だった。最近、外部依頼をして、早朝、掃除に来てもらうようになり改善された。
重点項目	地域のいきいきサロンの参加、とんど祭り、職場体験学習の受け入れ、「耳の会」の訪問など、交流は、盛んである。又、地域の自主防災会にも参加をする等、連携が見られる。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域を生活圏としていて、地域の一員としてとけ込み、馴染みの関係を構築されている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の重要性を皆で、共有し、理念に基づいた介護を心がけている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日頃から、地元の人たちと気軽に挨拶したり、地域のいきいきサロンに参加したり、職員も自治会活動に参加して、交流している。		
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価内容は、職員ミーティングで、共有し、改善事項については、積極的に話し合い、取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者や利用者家族等も多数参加され、そこでの意見を全体会議等で、話し合っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	特にしてない。		地域包括支援センター等と連携して、認知症対応(介護教室)等、地域に貢献する取り組みを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的にお手紙とか写真を送付している。面会に来られる家族については、その都度、状況を報告し、変化のあった場合には、その都度、電話で連絡を取っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会等で、意見や要望を出してもらい、改善の実施に役立てている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の移動等、多少はあるが、引き継ぎ等、配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	立場に応じた研修の参加している。スタッフは、スキルアップを目指して、意欲的である。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターが中心となって、地域の同業者との交流が、年2回あり、意見交換会を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前の相談から、管理者が、関わり、入居に際しては、家族の協力を得ながら、サポートしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者の生活経験(料理、縫い物、毛糸編み等、)からも学び得る事が、多い。又、一人ひとりに合った会話を心掛けている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりに 寄り添う介護の中で 利用者の意向を汲み取る努力が されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	ホーム独自の生活プランを作成していて、よく把握できている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	状態の変化があった場合は、その都度、行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の希望により、墓参りや 馴染みのカットサロンへの外出支援を行っている。		居室が、一時、空いた期間に入居待ちの方にショートの利用があった。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医である中野内科医院に 月一回、往診を受けている。又、入居される以前からの かかりつけ医に 継続して受診されている方もいる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、利用者の家族と話し合い支援方法など、スタッフ全員が共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用一人ひとりのプライバシーに配慮し、その方の尊厳や 自立を支援している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の方の思いを優先にして希望に沿うよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立を考え、時には、利用者の方と買い物に出かけ、食事作りを積極的に参加され、炒め物等もされている様子が、伺えた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、曜日は、決めてあるが、本人の希望や必要に応じて、行っている。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの状況に合わせて、役割があり、畑づくりや、食事づくりや 食事の後片付け等、楽しみながら出来るよう、支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日頃、一人ひとりの行動は、把握できていて、自由に散歩に出かけたり、ホームの周りを掃除されたり、そっと見守っておられる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、玄関に鍵をかけていない。チャイム等で、工夫されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、ホーム内での避難訓練だけでなく、地域の自主防災会にも参加している。ホームが災害弱者の避難場所になっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分量は、日々把握しており、お茶やコーヒー、ポカリスエット等で補っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下に居心地のいいソファや椅子が設置されていて、ゆっくり休める場所がある。又、家族の方が持って来られた花も飾ってあった。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室には、使い慣れた家具が持ち込まれ、カレンダーや写真が飾られ、居心地の良い居室となっている。		